

議事

病院整備計画の変更について

- ・病院整備計画(平成27年3月採択・平成30年3月変更分)の
計画変更について . . . 1
- ・令和3年度第2回医療審議会における大学への照会に対する
回答 . . . 2~6
- ・病院開院前における医師派遣の可否に対する回答
. . . 7~8

病院整備計画（平成27年3月採択・平成30年3月変更分） の計画変更について

1 採択（変更）の状況

採択（変更）の時期	病院数	病床数	条件
平成27年3月	1病院	800床	平成30年3月までに着工
平成30年3月	1病院	800床	—

2 整備計画について

平成30年3月の変更計画時点で「現在、作成中」であったものを次のように変更

	令和3年12月提出	令和4年2月再提出
基本計画 (設計者選定含む)	～令和5年3月	～令和5年2月
基本設計	令和5年4月～令和6年6月	令和5年3月～令和5年12月
実施設計	令和6年7月～令和8年3月	令和6年1月～令和7年3月
建設工事	令和8年4月～令和10年12月	令和7年4月～令和9年6月
開院	令和11年4月（400床） 令和12年3月 （800床：フルオープン）	令和9年9月（400床） 令和10年9月 （800床：フルオープン）

3 医師派遣について

令和3年12月提出	令和4年2・3月再提出
○ 県と協議を行い、積極的に県内医療機関への医師派遣を行う。	○ 派遣する医師の拠点となる病院が開院し、新病院の当該地域への定着と運営状況の安定が得られた上で実行する。 ○ 病院開院前においては、地域卒業生による医師派遣を、規模を拡大しながら実施していくとともに、県内医療機関へ派遣されている医師や順天堂医師会埼玉支部の所属医師と連携し、県の医師不足解消に向け取り組んでいく。 ○ 令和4年度は、医師派遣の計画を具体化させるため県と協議、検討を進め、医師派遣が可能な時期、規模の検討を進める。



令和4年2月18日

埼玉県保健医療部長
関本 建二 様

学校法人 順天堂
理事長 小川 秀

謹啓 立春の候、貴職におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本学が12月に提出しました病院の整備計画変更申請書につきまして医療審議会のご審議を受け、令和4年1月24日付でご照会をいただきました事項について下記の通りご回答申し上げます。

今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

謹白

記

1. 整備スケジュールについて

病院の開設時期を何年間前倒しにできるか

(ご回答)

検討の結果、環境アセスメントや許認可など不確実な要素もありますが、下記のとおり工期を見直します(別表(1))

- (1) 建物は5年後の2027年6月を目標に800床の病院を竣工させることを計画し、同年9月を目標に400床を開院いたします。
- (2) その後、外来・入院患者の来院実績を見た上で2028年9月を目標に400床の増床を計画いたします
- (3) 昨年12月に申請しました病院整備計画変更申請書と比較して開院時期が18ヶ月前倒しになります。

2. 医師の派遣計画について

県内の医師確保が困難な地域などにいつから実際に医師を派遣できるのか

(ご回答)

医師の派遣については、当初の計画通り派遣する医師の拠点となる病院が開院し、新病院の当該地域への定着と運営状況の安定が得られた上で実行することにいたします。

それまでの期間については、令和4年度から医師となる本学医学部の埼玉県卒学生を県内の医療を支える人材として育成するだけでなく、県内医師不足地域へ派遣可能となる臨床力を備える医師として教育します。

今後、本学の埼玉県地域卒人数を増員することもご検討いただくと医師派遣の充実につながると考えます。(別表(2))

また、現在、埼玉県域内の医療機関へ講座から派遣(常勤・非常勤)される医師や順天堂医師会埼玉支部の所属医師が多数存在することから、これ等の医師達とも連携を取って実情を共有して医師不足への協力を求めてまいります(別表(3))

更に、病院開院後は県の協力も得て、近年目覚ましい発達がみられるDX技術を活用して、県・市側で進めている行政DXとの連携も取りネットワークによる診療支援の仕組みを構築して医師派遣の早期実現と機能の強化につなげていきます。

以上が医師派遣に関する本学の基本的な考え方となります。

現状において本学としては、検討した工期短縮の病院整備計画を実現させ早期に医師派遣が可能となる支援体制を整備して着実に地域の要望に応じて緻密で計画性に富む医師派遣の仕組みを構築してまいります。

以上

埼玉キャンパス(仮称) 事業スケジュール

		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
		2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4	5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4	5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4	5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4	5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4	5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4	5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4	5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4	5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4
□	地域保健医療計画	第7次医療計画			第8次医療計画					第9次医療計画		
□	基本構想・基本計画 ①基本設計会社の参加条件：EDIへの協力 ②設計会社の持つノウハウを取り込む ③基本計画書に設計者選定に必要な条件を整理する	変更計画書提出★										
□	環境アセスメント ①基本計画段階で、市との事前協議を進め、事前調査項目の整理を行う ②基本設計業務に盛り込む	事前協議		27カ月(調査、準備)								
□	基本設計（病院、大学） ①施工会社の参加条件：ECIへの協力 ②施工会社の持つノウハウを取り込む ③施工会社選定は、総合評価方式（短工期、低コスト、高品質）で実施	(設計者選定)		★基本設計確定 10カ月								
埼玉国際先進医療センター(仮称)	病院 実施設計、建設			(施工会社選定)		★着工(2025.4)		★竣工(2027.6)				
	開院準備			15カ月		27カ月		★400床開院(2027.9)		18か月短縮		★フルオープン(2028.9)
	ハリポート・陽子線治療施設 実施設計、建設	基本計画を進める中で、申請手続きなど確定させて事業化させる										
大学・大学院	大学・大学院棟 実施設計、建設	文部科学省と協議しながら、開学時期を確定しながら事業化させる										

別表（2）

順天堂大学医学部の埼玉県地域枠の在学生数

2022年1月現在

	人数
6年生※	3
5年生	4
4年生	7
3年生	7
2年生	7
1年生	7

※令和4年3月卒業（予定）

別表（3）

2022年1月現在

第二次保健医療圏	埼玉県域内の医療機関へ講座からの勤務する医師数 (常勤・非常勤)	順天堂医師会埼玉支部に所属している医師数
南部保健医療圏	99	37
南西部保健医療圏	23	26
東部保健医療圏	244	108
さいたま保健医療圏	63	47
県央保健医療圏	25	21
川越比企保健医療圏	12	19
西部保健医療圏	27	23
利根保健医療圏	28	19
北部保健医療圏	3	11
秩父保健医療圏	0	3
合計	524	314



埼玉県保健医療部長
関本 建二様

令和4年3月14日

学校法人 順天堂
理事長 小川 秀
担当理事 天野 篤



病院開院前の医師派遣について（ご回答）

拝啓 早春の候、貴職におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、先般、令和4年2月22日付文書（保政第1602号）で改めて病院の開院前、令和4年度からの医師派遣の対応可否についてご照会をいただきましたので、下記の通りご回答申し上げます。

よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

この度、開院前、令和4年度からの医師派遣の可否についてご照会がありましたが、先般、2月18日付文書でご回答をさせていただきました通り、医師派遣については、新病院が稼働し運営が安定した状況のもとで実行することとしております。

この点は、埼玉県の大学病院誘致の公募に本学が応募し、病院整備計画を提出して承認されました時の計画と考え方に変更はございません。

本学は病院開院前の医師派遣の取り組みについて、現在進行形も含めて次のように考えております。

本学の埼玉県奨学金貸与制度による医学部卒業生は2022年度より3名誕生し初期研修医として特定地域の公的医療機関等へ勤務する予定になっており、新病院開院前には35名近い若い医師が特定地域の公的医療機関等を支える戦力になります。

また、この制度による育成受け入れ枠を7名から制度的に許される最大限可能な10名の規模まで引き上げられるよう国の認可を求める諸手続きを進めておりますので、実現すればさらに規模が拡大します。

しかし、これらの研修医が埼玉県の医療を担う貴重な戦力に育っていくためには、専門研修プログラムなど引き続き本学をコアとする実地医療研修教育の支援を必要といたしますので、拠点となる病院を埼玉県に早期に立ち上げる必要があります。

新病院を開院させるまでは、本学から埼玉県域内の医療機関へ派遣（常勤・非常勤）されている医師や順天堂医師会埼玉支部の所属医師を合わせ総計約1000名内外が現時点で埼玉県内に存在しますので、これ等の医師とも連携を取って実情を共有し医師不足への理

解と協力を求めていく考え方であります。

さらには医師不足問題に継続的に取り組まれてきた当該地区医師会や県内の医師派遣機能を有する医育期間・病院そして、その母体となっている国公立私立大学医学部とも必要な連携を取らせていただき、各種・各分野の医療関係者各位と共に医療レベルの向上に取り組んで参ります。

以上のような事情により、令和4年度は、医師派遣の計画を具体化させるため県と協議、検討を進めさせていただき、医師派遣が可能な時期、規模の検討を進めます。

改めて本学が浦和美園の地に新病院を開設する意義と目的につきまして、深いご理解とご洞察を賜り早期開院へ向けての多大なご支援とご協力をお願いしたいと考えています。

新病院は、埼玉県地域に密着し、県民が誇れる先進的な医療機能を備えた近未来型の病院であり、救命救急、小児救急、周産期医療、がん治療、AIを活用した最先端の診断と治療、感染症対応、スポーツと医学を融合させた未病・予防医学などを提供し、地域医療機関と密接に連携して、埼玉県民、さいたま市民に求められる医療に大きく貢献してまいります。

本学は、そのために、医師・看護師をはじめとする多数の医療人材の育成と先進的な医療機器の整備、地域医療を担う専門医の更なるステップアップへの協力・協調そして指導医、博士号取得等のコースの充実を図るための大学院機能の併設を期しております。また、併せて看護学部を新設し人材の確保を図ってまいります。

最後になりますが、浦和美園の新病院は、将来に亘り先進的な地域医療や県内全体の医療レベル向上とドクターヘリの活用も含めた安心安全な医療アクセスを担い埼玉県に貢献する医師、看護師と協調しつつ更なる発展に貢献してまいります。

以上